

11 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

JR京浜東北線の上中里駅の近くに、平塚神社という神社があります。この神社はかつては平塚城という城があったところで、領主である豊島氏の本拠地であったとされます。伝えによると、①平安時代に陸奥守(^{むつのかみ} 1)が東北地方での後三年合戦で勝利をおさめての帰り道、平塚城に留まりましたが、このとき豊島氏に鎧を授けたといわれます。豊島氏はのちに城の鎮護(^{ちんご})のためにこの鎧を埋め、小さな社を建てましたが、これが平塚神社のおこりだと伝えられます。

桓武平氏の一族である豊島氏は、鎌倉幕府成立の際は(1)の子孫にあたる②源頼朝に味方しました。源頼朝の信任を得た豊島氏は、紀伊国や土佐国などの守護に任じられるなど、勢力をのばしました。紀伊国の大半は現在の(2)県、土佐国は現在の(3)県にほぼあたります。やがて③室町時代になると、豊島氏は土着の領主として、石神井川上流に勢力をのばしましたが、15世紀には太田道灌(^{どうかん})にやぶれ、平塚城は落城しました。

平塚神社のそばには滝野川公園(^{たきのがわ})という公園があります。このあたり一帯は、古代の武蔵国豊島郡の役所があったところです。武蔵国は、現在の埼玉県、東京都のほか、神奈川県(4)市、横浜市の広い範囲を含みます。武蔵国はたくさんの郡に分割されていましたが、そのうち豊島郡は現在の北区、板橋区、豊島区、荒川区、台東区、④文京区、練馬区のあたりだと考えられています。滝野川公園のある北区が、古代の豊島郡の中心だったといえそうです。

滝野川公園から少し歩くと、王子駅の近くに、飛鳥山公園(^{あすかやま})があります。飛鳥山からは数度の発掘調査(^{はっくつ})により、旧石器時代の石器から、⑤縄文時代・⑥弥生時代の集落や土器、古墳時代の円墳(^{えんぷん})など、多くの遺物や遺構が発見されています。飛鳥山のあたりは石器時代からとても栄えていたことが分かります。

飛鳥山の名は、鎌倉時代の終わり頃、豊島氏がこの地に紀伊国熊野から迎えた飛鳥の祠に由来するといわれます。飛鳥山は江戸幕府の8代将軍(5)が山桜を1000本以上植えさせてから、上野とならぶ江戸の桜の名所として知れわたりました。⑦江戸の庶民の花見の様子は当時の⑧浮世絵にも描かれています。

(5)といえば、享保の改革をすすめた将軍として有名です。目安箱をつくって、民衆の意見を聞いて政治の参考にしたり、公事方御定書(^{くじかたおさだめがき})という裁判の基準を定めたりしました。また上げ米の制を定めて諸大名に米を納めさせ、かわりに大名が(6)で江戸にいる期間を半年に短縮しました。(5)は紀伊藩の出身なので、飛鳥山に愛着を持ったようです。

飛鳥山は明治のはじめ、東京に設けられた最初の5公園の一つとなりました。園内には幕末思想家の⑨佐久間象山を記念した石碑や、(7)の戦役碑である「明治三十七八年戦役記念碑」などがあります。園内には実業家として活躍した渋沢栄一の屋敷跡があります。現在残っているのは庭園と一部の建物だけですが、内部を見学することができます。

渋沢栄一は江戸時代の終わり頃、現在の埼玉県深谷市で農業・商業を営む家に生まれました。一時は尊皇攘夷思想にそまりましたが、縁あって一橋家の家臣となり、のちの15代将軍(8)に仕えました。そして幕府使節の随員としてヨーロッパに行き、感銘を受けて帰国しました。帰国後は⑩新政府の大蔵省に仕え、税制や貨幣制度の改革にあたりましたが、⑪大久保利通らと対立して退官しました。退官後は 第一国立銀行や大阪紡績(^{ぼうせき})会社など、多数の会社や銀行の設立に関わり、近代日本経済の基礎をつくりました。また⑫多くの本も著しました。国際平和のためにも努力し、⑬第一次世界大戦後に⑭国際連盟が設立されると、その精神の普及のため、国際連盟協会の会長となりました。しかし1931年に⑮満州事変が起こります。この年、渋沢栄一は亡くなりました。